



まつい・のぶお

株式会社ウイム 代表取締役
ファイナンシャル・プランナー
CFP(R)一級ファイナンシャル・プランニング技能士

全国各地で年100回以上のセミナーを行なう人気ファイナンシャル・プランナー。

お客様と共に歩んで28年、運用をお手伝いして15年。リーマンショック、ギリシャショックなど数々の金融危機の中、お客様の資産を増やし続けて来た実績は有名。

著書に「金融時事用語辞典(日銀他との共著/金融ジャーナル版)」、「銀行では絶対に聞けない資産運用の話(書肆侃侃房)」等

高島屋保険特別企画

タカシマヤカード《ゴールド》会員様限定「無料個別相談」を承ります。

タカシマヤカード《ゴールド》会員様限定で松井信夫氏による無料相談を承ります。

お問い合わせ・お申し込みの際は、必ずタカシマヤカード《ゴールド》会員である旨をお知らせください。

また、松井信夫氏によるセミナーは各地で開催しております。詳細は下記ウイムのホームページをご覧ください。下記フリーダイヤルの担当者にお気軽におたずねください。

無料個別相談のお申し込み・お問い合わせは株式会社ウイム www.wim-fp.com

〈銀座オフィス〉東京都中央区銀座5-6-12 みゆきビル6階

(東京メトロ銀座駅 B3出口より徒歩約1分)

☎フリーダイヤル:0120-165-143(担当:坂田)

メール:wim3@biscuit.ocn.ne.jp

株式会社ウイムおよび高島屋保険株式会社が取得した個人情報とは個別相談に関するご案内以外には使用いたしません。

高島屋保険 株式会社
TAKASHIMAYA HOKEN
〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-5-8 高島屋北別館6階
TEL.03-3246-5976

さまざまな情報に振り回されて、大事なお金が目減りしていませんか？

お金は人の役に立つために生まれてきたのに人はお金のことをあまりにも知らなさすぎではありませんか。まず、お金のことを学び、理解し、そして、お金のことに働いてもらう！そうすることが、お金を守り、資産を増やし、ひいては日本の未来も明るくします。

松井信夫

(ファイナンシャル・プランナー)

資産を分散することが大前提

2010年12月10日の日本経済新聞に「国債発行額、税収超す」とありました。これは戦後の混乱期を除くと過去に例がなく、「財政構造の悪化に歯止めがかかっていない」と記事は続いています。金融常識の一つとして、負債が増えた国の通貨はいずれ下落します。このような状況下で、みなさんは円資産だけを持っていることに不安はありませんか？ 欧米では資産運用の基本として昔から「一つのカゴに卵を盛るな」という格言があります。一つの金融

具体的には、

- ・保険だから、金利が高い
 - ・保険だから、複利運用で大きく増える
 - ・保険だから、課税方法が一時所得扱いでお得
 - ・保険だから、収入から保険料の一部が控除される
 - ・保険だから、外貨運用の場合、為替手数料が少ない(不要の場合も)
 - ・保険だから、相続対策に有効
- など、保険を有効に使えば資産を守りながら、大きく増やすことも夢ではありません。

〈保険で運用する場合の注意点〉

生命保険には、「保障」と「運用」の二つの機能があります。そのため、生命保険で運用を考える場合、無駄な保障部分はカットする必要があります。そのためにも信頼のおける機関で相談されることが大切です。



商品や自国通貨だけで運用していた場合、破綻や内戦・侵略などで資産をすべてなくす危険性が高いため防衛手段として資産は分散して運用しよう、という意味です。ペイオフ対策としていくつかの銀行に預貯金を分散した、という方もいらっしゃると思いますが、ここでいう資産の分散とは円そのものを分散して運用することをさしていません。円の価値は日々変化しており、絶対ではない現実を認識し、外貨への分散が必要な時代になっているのです。

長期で増やすなら「保険」が有効

最近ある都市銀行に入ったら、店内に「増やすなら保険」というポスターがありました。ではなぜ、「増やすなら保険」が有利なのでしょう？ それは、保険は、1〜2年で解約するというより、長期での契約を前提として考えられた運用商品であるからです。

リーマンショックでも動じない安心投資を！

現況や将来に不安を抱いて私の銀座のオフィスに相談に来られる方の多くは、有効で安心できるご自分に適した運用の方法をお聞きになり、笑顔で帰っていかれます。お金とは本来、人の役に立つために生まれてきたものであるはずなのに、人はいつしかそのお金の振り回されています。まず、経済の仕組みを理解し、リーマンショックなどのような大きな変化にも対応できるよう、あなたに合った運用の仕方を選択すれば、大切なお金を目減りさせることなく増やすことが可能です(ただし、運用の最終判断はご自身です)。この道ひとすじ28年の松井に、ぜひご相談ください。